

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 17 日

| | | | | |
|------------|------|----------------------------------|-------------------|-----------|
| 評価対象事業 | | 評価者 | 下水道河川課担当課長 加藤 隆志 | |
| 都整-28 | 実施事業 | 管渠維持管理費(特別会計) ■ 自治事務 □ 法定受託事務 | 主管課 下水道河川課 | |
| | | | 関連課 浄化センター、道水路管理課 | |
| 総合計画上の位置付け | 分野 | 下水道・河川 | 施策の方針 | 下水道の整備・管理 |

1 事業の目的

| | |
|----|--|
| 対象 | 市民等 |
| 意図 | 既存管路施設の機能維持を図り、流入汚水の処理を継続して、適正な施設機能の維持管理を行うため。 |
| 効果 | 既存管路施設及び汚水送水施設の機能維持と延命を図る。 |

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

| |
|---|
| ・管路施設内の堆積物の除去、伏越箇所浮遊物・堆積物の除去・清掃や蓋の不具合による振動・騒音の解消及び道路陥没の原因となる破損した取付管等の修繕や布設替えを行った。 |
|---|

3 事業費等基礎データ

| データ区分 | 30年度(2018年度)決算 | 01年度(2019年度)決算 | データ区分 | 02年度(2020年度)当初予算 | 備考 |
|---------|----------------|----------------|---------|------------------|----------------------|
| 人口等のデータ | 人口 | 176,308人 | 人口 | | ・各年3月31日 (住民基本台帳) |
| | 世帯数 | 81,763世帯 | 世帯数 | | |
| | 事業の対象者数 | | 事業の対象者数 | | |
| 運営資源状況 | 決算値(千円) | 168,732 | 97,139 | 当初予算(千円) | |
| | 国県支出金 | | | 国県支出金 | |
| | 地方債 | | | 地方債 | |
| | その他 | 160,295 | | その他 | |
| | 一般財源 | 8,437 | 97,139 | 一般財源 | |
| | 人員配置数 | 2.1 | 2.1 | 人員配置数 | |
| 事業経費運営 | 総事業費(千円) | 185,338 | 113,898 | 総事業費(千円) | |
| | 市民1人当りの経費(円) | 1,051 | 646 | 市民1人当りの経費(円) | |
| | 対象者1人当りの経費(円) | | | 対象者1人当りの経費(円) | |
| | 人件費(千円) | 16,606 | 16,759 | 人件費(千円) | 0 |

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、ブルダウンドで選択。

| | | | |
|-------------------|--|--|--|
| 効率性 | 事業費に削減余地はないか | 2. ない | |
| | 関連・類似事業との統合はできないか | 3. 統合できない | |
| 妥当性 | 事業の実施に対する市民ニーズはあるか | 2. 増大している | |
| | 事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか | 3. 廃止・休止による影響は大きくある | |
| 有効性 | 事業の成果は得られているか | 2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である | |
| | 事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか | 3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している | |
| 公平性 | 受益者負担は公正・公平か | ○.負担導入済 ○-1. 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある | |
| | | △-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない | |
| 協働 | 市民等と協働して事業を展開しているか | △.協働未実施 協働実施済の場合のパートナー | |
| | | | |
| 事業内容の方向性 | <input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input checked="" type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒ | 見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 | 見直しの内容 下水道 事業へ統合 |
| | <input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する | 事業内容・予算規模の方向性設定の理由 | 第4期基本計画実施計画において下水道事業に係る予算については、公営企業会計に移行したことからすべての事業を「下水道事業」に統合した。 |
| 総評(評価に対する考え方、根拠等) | 市民生活に直接関わりのある重要な事業であることから、事業は妥当である。定期的に清掃・しゅんせつしている以外にも、管渠の閉塞等で作業を実施する箇所があり、事後保全型の対応となっている。また、管渠の老朽化が進んでいる旧市街地や大規模団地の下水道施設での閉塞、破損が度々発生しており、使用者に制限を与えてしまう事から、対応には緊急性を要する。さらに道路陥没等の発生の原因にもなり得る。予測が不可能な事項であるため職員の休日待機や時間外勤務という課題、及び施工業者の確保の問題もある。 | | |

| | | |
|---|---|---|
| 令和元年度(2019年度)事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む) | ・汚水柵や取付管の老朽化が進み、下水が円滑に流れなくなる事例が増えており、布設替え等の修繕が追いつかない。 | |
| 課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組 | ・破損箇所から木根が侵入し詰まりを起こした取付管については、再発防止のため積極的に布設替を行った。 | <input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決 |
| 未解決の課題、新たな課題とその理由 | ・施設の状態を把握するための台帳電子化の予算確保が出来ず、修繕履歴などの把握ができていない。 | |

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

| | | | | | | | | | |
|------|--|------|------|------|------|------|-----|-----|-----|
| 比較事項 | 管渠維持管理費(百万円)令和元年度版神奈川県下水道事業 平成30年度末 処理区域面積(ha)令和元年度版神奈川県下水道事業 平成30年度末 | | | | | | | | |
| 団体名 | 鎌倉市 | 藤沢市 | 茅ヶ崎市 | 平塚市 | 小田原市 | 横須賀市 | 葉山町 | 逗子市 | 三浦市 |
| 他市実績 | 83 | 570 | 183 | 478 | 1141 | 1319 | 370 | 19 | 58 |
| | 2413 | 4757 | 2228 | 3503 | 2519 | 5860 | 355 | 864 | 214 |

| | |
|----------------------|--|
| 当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方 | |
|----------------------|--|

◎ 事業実施に係る指標

| | | | | | | | | | | |
|---|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------------------------------|---|----|
| 指標の内容 | 管渠しゅんせつ延長 | | | | | 単位 | km | 指標の傾向 | ⇒ | 備考 |
| 当該指標を設定した理由 | 年次 | H26(2014) | H27(2015) | H28(2016) | H29(2017) | H30(2018) | R01(2019) | 毎月行っている箇所もあり、しゅんせつ箇所としては、約7.9km。 | | |
| 目標値は、小町通や仲通などで実施している定期的な管内のしゅんせつ予定延長であり、これを最低限の延長と判断しているため。 | 目標値 | 21.2 | 21.2 | 21.2 | 21.2 | 21.2 | 21.2 | | | |
| | 実績値 | 26.5 | 26.5 | 26.3 | 25.5 | 25.1 | 26.8 | | | |
| | 達成率 | 125.0% | 125.0% | 124.1% | 120.3% | 118.4% | 126.4% | | | |

| | |
|-----------------------|--|
| 当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方 | 飲食店が多く、油分が多く流れる箇所などの定期的な清掃・しゅんせつは、管の閉塞事故を未然に防ぐ観点から重要な維持管理業務である。 現在、定期的実施している箇所は、約500kmある管渠延長の2%程度ですが、管の老朽化が進んでいることから、今後実施必要な延長は増えていくと考える。 |
|-----------------------|--|